

評議員会便り

平成20年度 愛知学院大学薬学会 総会議案集

1. 開催日時：平成20年4月30日（水）午後3：45より

2. 開催場所：愛知学院大学薬学部204講義室

3. 付議事項

第1号議案 H19年度 決算案の件（下記参照）

第2号議案 H20年度 予算案の件（下記参照）

第3号議案 H20年度 事業計画の件（下記参照）

第4号議案 その他（下記参照）

第1号議案

平成19年度愛知学院大学薬学会会計報告（平成20年3月31日現在）

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金	1,481,096	謝金（亀井春枝講師）	33,333
春学期学生入会金・会費	722,000	謝金（金田和子講師）	33,333
秋学期学生入会金・会費	519,000	会議昼食代	8,840
教員入会金・会費	147,500	薬学会東海支部学生アルバイト代	28,000
寄付金（渡邊教授）	500,000	次年度繰越金	3,269,284
利息	3,194	計	3,372,790
計	3,372,790		

監査人署名書類（資料1）

第2号議案

H20予算案

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金	3,269,284	薬学会誌印刷費・郵送費	2,200,000
春学期学生入会金・会費	850,000	講演会費（謝金）	200,000
秋学期学生会費	650,000	会議昼食代	40,000
教員入会金・会費	130,000	学生アルバイト代	28,000
利息	3,000	雑費	100,000
計	4,902,284	次年度繰越	2,334,284
		計	4,902,284

第3号議案

事業計画

- ・ 会誌の発行（H20年12月予定）
- ・ 総会の開催（H21年4月予定）
- ・ 講演会の開催（主催および後援）
- ・ 学生向け教育・研究活動に対する援助

第4号議案

その他

- ・ 会則の改定（資料2）

以上

H20年度 役員（H21年3月まで）

- ・ 会長：佐々木琢磨
- ・ 副会長：樋彰
- ・ 監査：中西守、川島嘉明
- ・ 庶務：村木克彦、武田良文
- ・ 予算/決算：古野忠秀
- ・ 総会・会則：田中基裕
- ・ 講演会：恒川由己
- ・ 編集：村木克彦、山本浩充

H20年度愛知学院大学薬学会 第1回評議員会議事録

日時 平成20年度6月16日午後6：00～7：10

出席者 村木、樫、田中、恒川、古野、武田、山本

場所 薬学部棟大会議室

議題

1. 薬ゼミ講演会（4年生向けの国家試験の分析に関する講演会）への補助について

- ・現在、薬事法規関連の見積もりを薬ゼミに依頼中であり、見積金額を勘案の上、上記講演会費用（交通費）の組込みを考慮することとなった。なお薬事法規関連の支出に関しては、薬学会として積極的に対応していくこととなった。

2. 薬学会誌の発行について

- ・日本薬学会関連雑誌の英文および和文投稿規定を改編して、愛知学院大学薬学会雑誌の投稿規定とすることとなった。投稿者には査読者1名の指名を依頼することとなった（投稿規定に明記）
- ・編集委員会については、愛知学院大学薬学会会長が編集委員長を、愛知学院大学薬学会副会長および評議員が編集委員を兼任することとなった。編集委員長および編集委員の任期を2年とすることとなった。
- ・薬学会から以下の論文投稿依頼を行うこととなった（締切りは9月末）。
 - a. 各講座に英文あるいは和文の原著論文の投稿を依頼する。
 - b. H19年度に実施されたCBT、OSCE、早期体験（H19年度薬学会東海支部発表分；恒川、3年生）、実務実習について、担当教員に報告書を兼ねた原著論文を依頼する
 - c. 渡辺前学部長、佐々木学部長に英文あるいは和文の総説を依頼する。
- ・薬学部と関係の深い関連業者（試薬卸、薬局、薬学ゼミナール、リコー社、出版社など）に広告の依頼を行うこととなった（広告代金案；表紙裏および裏表紙：A4版5万円、その他：A4版3万円、A4版1/2面2万円、A4版1/4面1万円、原稿締切りは9月末とし、各評議員が各業者等に積極的に広告を依頼する）。
- ・その他の掲載内容として、H17,H18,H19年度の各講座の業績、H9年度の講座紹介、評議員会だより（議事録の掲載）、総会の議事および会計資料を掲載することとなった。

3. 学術大会について

- ・大学院生が在籍しない現状では実施が難しく、来年度の総会時に2演題程度の特別講演会を開催する方向で検討することとなった。

4. その他

- ・今年度の薬学会主催講演会の追加について

名古屋大学医学部薬剤部長の山田先生に講演を依頼することとなった（11月頃の水曜日に実施する予定で、対象を主に2年生、3年生とする。具体的な日程調整などは恒川先生に依頼）。なお講演会打ち合わせ費を薬学会から支出することとなった。

H20年度愛知学院大学薬学会 第2回評議員会議事録

日時 平成20年度11月20日午前10：30～11：30
出席者 佐々木、樫、村木、田中、恒川、古野、武田
場所 薬学部棟大会議室

議題

薬学会誌の発刊について

- ・ 学院長に巻頭言の寄稿を依頼することとなった（佐々木先生より依頼。800字前後（A41項程度））
- ・ 薬学部長に寄稿（「刊行に寄せて」）を依頼することとなった。
- ・ 発行日を2008年12月31日とし、印刷を1月末前後、学生への配布を2月中とすることとなった。
- ・ 論文等の取り扱いについては、上井先生、恒川先生執筆論文は来年度に、渡辺・岩本先生執筆論文は、著者の希望を勘案することとなった。
- ・ 薬ゼミ等学習関連業者、大学出入り業者、就職修飾関連業者（企業、ドラッグなど）に広告の出稿を依頼することとなった。なお武田先生が広告関連窓口として広告募集の案内や対応を行うこととなった。広告の締め切りは12月末とすることとなった。
- ・ 掲載文については、印刷業者による編集作業を行うこととなった。
- ・ 表紙のデザインについては、本年度役員（関連講座）が候補デザインを一点提出し、その中から候補を選出することとなった（ファイル形式は自由、締め切りは12月末）。
- ・ 学術著作権協会への著作権の委託を検討することとなった（山本先生：協会へ連絡して、手続き、費用等を確認ください）

その他

- ・ 原稿案（配布資料の2枚目以降）の誤字・脱字を確認する。

愛知学院大学薬学会 会計出金基準

愛知学院大学薬学会の主催・共催する学術教育活動および、会員・準会員が直接関わる学術教育活動に対して、本会は経費の全額または一部を負担する。

以下の項目について、支出の必要が生じた場合には、会長は評議員会を開催し、評議員会の承認を得た後、支出することができる。

1. 会員・準会員の学術教育活動を支援する目的で開催される講演会の開催および講演会参加に対する補助

- ・講師謝金（基準額：30,000円/講義）
 - ・アルバイト料（大学の規定に準ずる）
 - ・交通費（大学の規定に準ずる）
 - ・会場費
 - ・資料作成費
 - ・運営費
- など

2. 会員・準会員の学術教育活動を支援する目的で開催される行事等への補助

- ・会場費
 - ・資料作成費
 - ・運営費
- など

3. 準会員の教育を支援する目的で開催される教育活動への補助

- ・会場費
 - ・資料作成費
 - ・運営費
- など

4. その他、評議員会、総会で必要と認められた学術教育活動への補助